

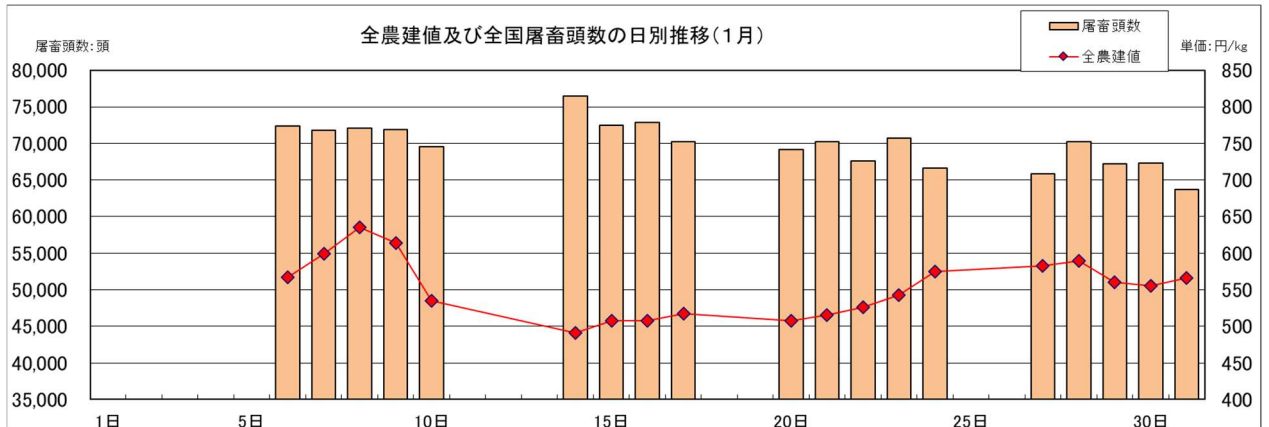
肉豚インフォメーション (1 月)

●1 月の動向

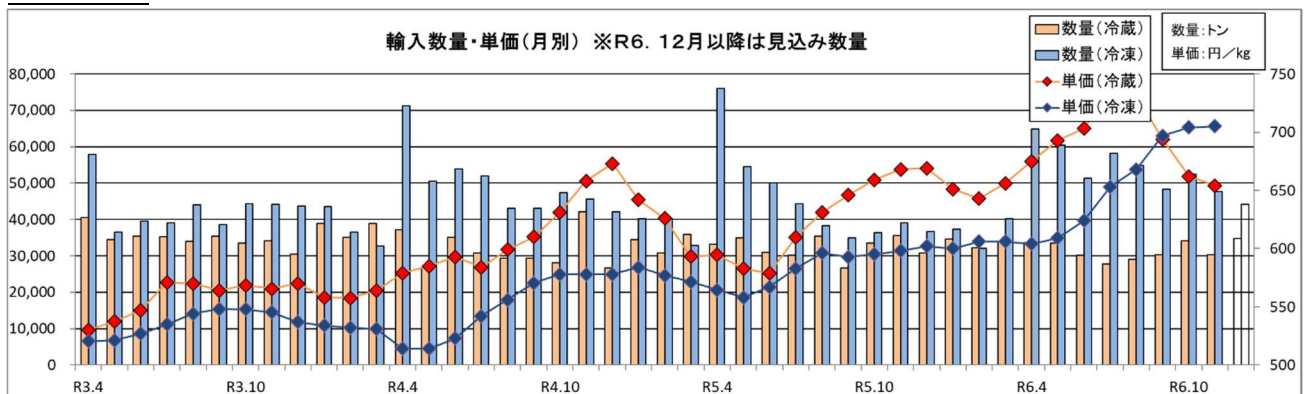
2025 年 1 月 (税抜)	2024 年 1 月 (税抜)
552 円/kg (95 円高)	457 円/kg

※全農建値

今回の年末年始は休みが長く、年明けに補充手当てが進んだことや、その後の連休へ向けた引き合いもあり、年初から例年以上に高値で推移した。その後、不需要期に入り、相場は急落し、500 円台前半から中盤の軟調な展開となった。

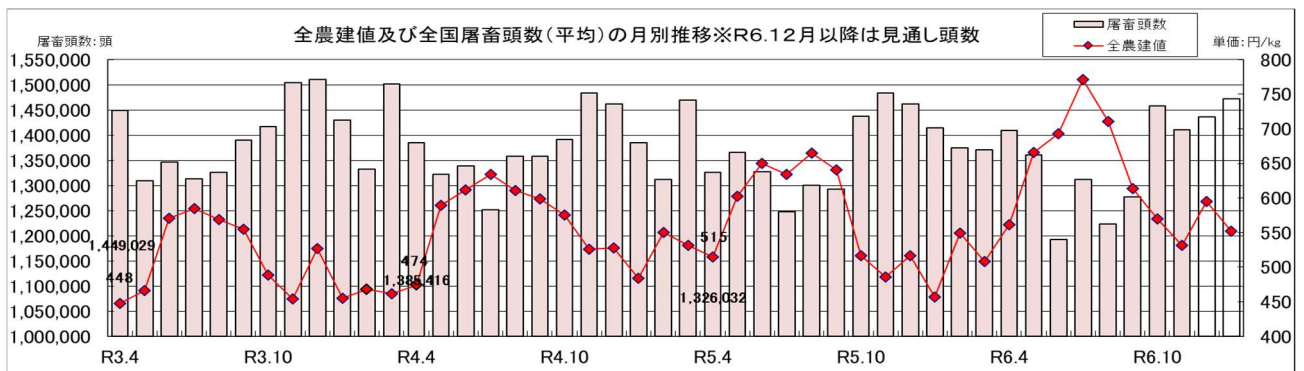


●輸入動向



●2 月の動向

2 月の出荷頭数については、前年同月よりやや減少、相場は軟調な相場展開と予測。

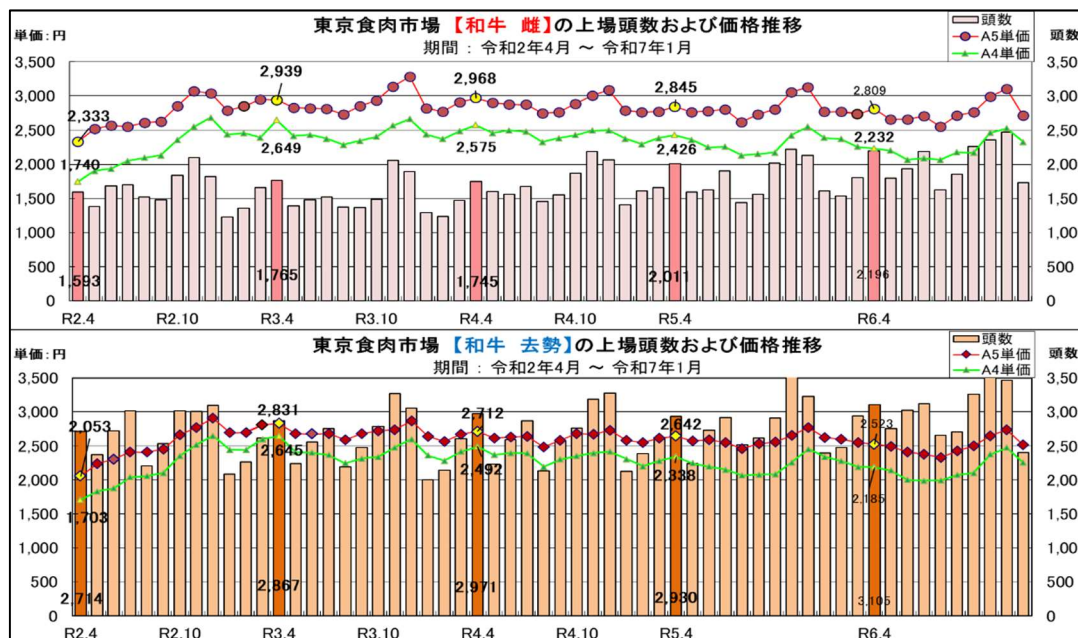


全農建値 (税抜) 予測レンジは 500 円～550 円とする。

肉牛インフォメーション (1月)

●1月の動向

末端需要が弱まったことなどから、12月の高相場から一転し、和牛・交雑牛ともに軟調な相場となった。とくに5・4等級の上物が伸びにくく、3・2等級の引き合いが良かった。



●2月の動向予測

末端の需要低迷と、物価高による消費者の節約志向があることから、和牛相場は軟調になると予測。そのため、交雑牛は和牛からの代替需要で堅調に推移すると予想される。

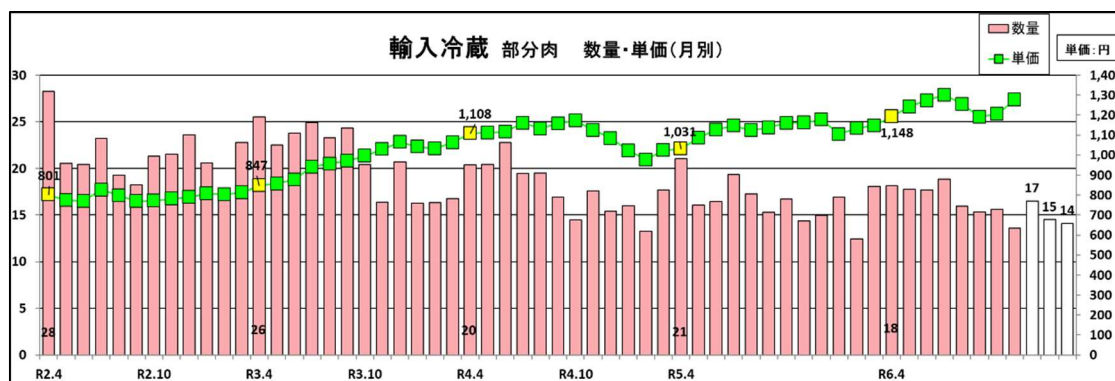
2月相場は「軟調」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,500 円 (税込み) A4 等級 2,300 円 (税込み)

交雑去勢 B4 等級 1,600 円 (税込み) B3 等級 1,500 円 (税込み)

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要の低迷により低調に推移する中、1月は、主要輸入先の豪州産及び米国産輸入量の減少が見込まれること等から、前年同月をかなり大きく下回ると予測する。一方、2月は、低調に推移するも、前年同月の輸入量が少なかったこと等から、前年同月をかなり大きく上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をわずかに上回ると予測する。
(ALIC 牛肉の需要予測について1月29日)



食肉インフォメーション（1月）

●1月の動向

○牛肉

年明け以降は年末需要の反動と物価高で消費者の節約意識が高く、安価な切り落としが中心の販売となった。一方でロイン系等の高級部位はお歳暮の時期が過ぎたこともあり、和牛・交雑牛ともに需要は落ち込んだ。一方で乳用牛は、高騰する輸入牛の代替需要から業務用を中心に好調な売れ行きとなった。

○豚肉

1月は不需要期に入り、末端需要の落ち込みから厳しい販売となった。年末のロース中心の販売から、年明け以降はスソ物中心の販売となった。

学校給食の再開により、ウデ・モモ等の動きが強まった。

●2月の動向予測

○牛肉

2月以降、多くの食料品の値上げが予定されており、消費者の節約志向は継続すると思われる。そのため、比較的安価な交雑牛・乳用牛へのシフトが進むと予想される。

和牛については旧正月のインバウンド等の継続した需要や肉の日(2/9)のイベント実施が消費動向を左右する重要な取り組みとなる。

○豚肉

2月は受験シーズンにロースやヒレの“カツ”、需要は一部みられるが、基本的には不需要期になる。また葉物野菜価格の高騰により鍋物需要が落ち込み、バラ・肩ロース等のスライス材は厳しい販売が予想される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年12月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度12月	42,470	7,164	34,123	28,943	13,856	7,280	133,836
令和5年度12月	41,129	7,457	40,036	29,694	17,049	5,755	141,120
令和6年度12月	40,163	7,797	40,485	30,398	15,253	6,618	140,714
増減（R5-R6）	-966	340	449	704	-1,796	863	-406
対比（R4/R6）	95%	109%	119%	105%	110%	91%	105%
対比（R5/R6）	98%	105%	101%	102%	89%	115%	100%